

## 分科会開催報告書

報告日 令和2年 2月 28日(金)	報告者 小幡友子																													
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 137回浮雲俳句会																													
開催日時 令和2年 2月 23日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—																													
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女6名 合計17名 欠席者0名																														
<p><b>実施内容</b></p> <p>第137回例会は、兼題①越前岬②天文(初春)他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による</p> <p>添削披露及び、深沢勝美会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞と、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 70%;">霾のごと新型肺炎その影を</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">一馬</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>春怒濤越前岬奇巖撃つ</td> <td style="text-align: right;">あきえ</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>越前岬揉まれて育つ黄水仙</td> <td style="text-align: right;">勝美</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">特選句</td> <td>春光に再びすくと天守閣</td> <td style="text-align: right;">十九</td> </tr> <tr> <td>車窓より甲斐の野面の春の霜</td> <td style="text-align: right;">一幸</td> </tr> <tr> <td>西湖梅南宋の香を継ぎてをり</td> <td style="text-align: right;">重九</td> </tr> <tr> <td>瑞泉寺思ひのままに梅開く</td> <td style="text-align: right;">祥代</td> </tr> <tr> <td>新芽立つ頭髮談義の床屋さん</td> <td style="text-align: right;">勇平</td> </tr> </table> <p><b>会員高点句</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">7点句</td> <td style="width: 70%;">ガーシュインの曲に合わせて半仙戯</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">一馬</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>西湖梅南宋の香を継ぎてをり</td> <td style="text-align: right;">重九</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>嫁ぐ子と沈丁の香と夜更けまで</td> <td style="text-align: right;">春駒</td> </tr> </table> <p><b>次回の予定</b></p> <p>令和2年3月29日(日) 午前9時30分～午前11時30分</p> <p>「第138回例会」は、金沢区役所2階区民活動センター内会議室I・II</p> <p>第138回例会は、兼題①観音崎②地理(仲春)。他に当季雑詠2句。合計4句。</p> <p>披講高津春駒会員。</p>		天賞句	霾のごと新型肺炎その影を	一馬	地賞句	春怒濤越前岬奇巖撃つ	あきえ	人賞句	越前岬揉まれて育つ黄水仙	勝美	特選句	春光に再びすくと天守閣	十九	車窓より甲斐の野面の春の霜	一幸	西湖梅南宋の香を継ぎてをり	重九	瑞泉寺思ひのままに梅開く	祥代	新芽立つ頭髮談義の床屋さん	勇平	7点句	ガーシュインの曲に合わせて半仙戯	一馬	6点句	西湖梅南宋の香を継ぎてをり	重九	6点句	嫁ぐ子と沈丁の香と夜更けまで	春駒
天賞句	霾のごと新型肺炎その影を	一馬																												
地賞句	春怒濤越前岬奇巖撃つ	あきえ																												
人賞句	越前岬揉まれて育つ黄水仙	勝美																												
特選句	春光に再びすくと天守閣	十九																												
	車窓より甲斐の野面の春の霜	一幸																												
	西湖梅南宋の香を継ぎてをり	重九																												
	瑞泉寺思ひのままに梅開く	祥代																												
	新芽立つ頭髮談義の床屋さん	勇平																												
7点句	ガーシュインの曲に合わせて半仙戯	一馬																												
6点句	西湖梅南宋の香を継ぎてをり	重九																												
6点句	嫁ぐ子と沈丁の香と夜更けまで	春駒																												